活動情報			
取組項目	広報・啓発活動		
組織名	柿木澤農地環境保全会	塩谷南那須　管内	さくら　市

活動目的：

活動内容：

地域の田んぼを守り、環境をみんなできれいにしましょう！

『きずな』通信

〔農地維持・資源向上活動組織「柿木澤農地環境保全会」通信〕

〔創刊号〕
平成２７年７月

創刊にあたって

柿木澤農地環境保全会　代表　田代　昇

従来より実施されていました「農地・水保全管理支払交付金」事業に代わり、平成２７年度より「多面的機能支払交付金制度」に移行し、新しい制度に改革されたことに伴い、「柿木澤農地環境保全会」を立ち上げました。(台原地区、一部は、隣接する狭間田地区と共同活動の実績があり、２９年度より柿木澤地区に編入合併することで狭間田地区代表者と合議済みです。)

最大の目的は、各個人のライフスタイルの変化に伴い、地域集落の「きずな」が希薄になってきていることへの危機感を払拭し、行政区、公民館、神社氏子等々地域の各種活動を基本に、柿木澤の自然環境の保全、維持、改善を通して一人でも多くの人に、参加をして貰い、老若男女全ての人に柿木澤の（人）を知らない人がいない、となるようあらゆる行動を共にして【きずな】深めることを終局の目的として、各役員一丸となって事業を企画、立案しますので、農業者、非農業者問わず、地域住民としての参画をお願い致します。

私たちは頑張ります！

柿木澤の農地を守り，環境を良くし、地域を元気にするため積極的に活動します。

【柿木澤農地環境保全会の役員、地域リーダーの皆さん】

役職	氏名	役職	氏名
代　　表	田代　昇	推　進　員	菅又　秀典
副　代　表	田代　繁夫	推　進　員	物井　周治
事務局長	田代　広三	推　進　員	斎藤　喜一
書記・会計	斎藤　信夫	推　進　員	小野　潔
監　査　役	兼田　賢一	推　進　員	綱川　淳
監　査　役	木下　秀房	推　進　員	青木　智一
推　進　員	高瀬　良雄	推　進　員	伏見　仁一
推　進　員	田代　英己	リ　ー　ダ　ー	坂本　利一
推　進　員	小野　利夫	リ　ー　ダ　ー	小堀　敏男
推　進　員	綱川　茂	リ　ー　ダ　ー	斎藤　春美
推　進　員	田代　純一	リ　ー　ダ　ー	綱川　重久

柿木澤行政区、公民館も農地環境保全会の活動に協力していきます。〔行政区長、公民館長〕

保全会活動はどのようなことをするのですか。

この活動は、国の「多面的機能支払交付金」制度を活用して実施します。

【多面的機能支払交付金制度の概要】

私たち柿木澤地域面積の大半は農地が占めております。この農地・農村は、災害を防ぎ、水を貯え、自然環境を守り、美しい景観を私たちに与えてくれる「多面的機能」を持っていますが、近年、農村地域の過疎化、高齢化、混住化などから支障が生じつつあります。

このため、地域の共同活動でもって地域資源の適切な保全管理を推進するのがこの制度です。

【多面的機能支払交付金の構成】

２つの交付金からなっており、多面的機能を支える共同活動を支援します。

①農地維持支払交付金

農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動

②資源向上支払交付金

農地、水路、農道等の質的向上を図る活動を支援します。

◇水路、農道などの軽微な補修　◇植栽による景観形成　◇生き物保全活動

※柿木澤農地環境保全会は、２つの交付金を活用していきます。

今年度の活動計画

活動初年度にあたり、先ずは地域の皆様に事業内容を周知頂きたいと思います。

今年度の主な活動は、以下の事業を予定しています。

【農地維持支払関係】

①地域資源の基礎的保全活動

・遊休農地等の発生状況、農地の崩れ、泥の堆積状況などの点検
・事業推進のための事務研修
・農用地法面、農道路肩・法面及び水路の草刈
・水路の泥上げ
・必要に応じ用水路施設の点検

②地域資源の適正な保全管理のための推進活動

農業者の皆様への意向調査
地域の皆様との意見交換会
研修会

【資源向上支払関係】

①施設の軽微な補修

農用地及び水路等の点検、管理
農用地及び水路等の点検、管理研修
農用地、水路、農道の軽微な補修

②農村環境保全活動

生物の生息状況把握
景観形成・生活環境保全
農道沿いに花の植栽

③多面的機能の増進を図る活動

遊休農地の有効活用
農村環境保全活動の幅広い展開

農道沿いへの花植栽検討中です。

４月から具体的に活動開始しました。

用水路の泥上げ作業

用水路脇の草刈作業

花の植栽作業

道路縁石付近の除草作業

ホタルの観察会　6月6日（土）19：30開催

柿木澤には、知る人ぞ知るホタルの生息地があり、10数年前からみられているそうですが、最近多くなったとのことで、現地に行って見てびっくり！確かに多くのホタルがいました。このため、子ども育成会会長さんに観察会を持ちかけたところ、36名の方が参加してくれて、観察会を開催することができました。

感想　数日前からホタルの飛翔が少なくなり、当日、低温と風が強いためホタルが見られるかどうか心配しましたが、飛んでくれました。『あそこにいるよ』『ほら光った、飛んだよ』子どもたちの歓声を聞き企画して良かったと思いました。

保全会は、ホタルの生息地を「ホタル生息保全区」に指定し保全する予定です。

今後の活動予定

第２四半期以降の主な活動は以下のとおり予定しています。

◇草刈活動（数回実施します。）

◇施設調査

◇必要に応じ施設の補修

◇生き物調査

◇花の植栽

◇研修会

◇ごみの清掃活動ほか

※本会の活動内容でご提案があれば、役員等にお願い致します。
事業の趣旨に合致したものには、積極的に取り組みたいと思います。

地域の話題

ホタルの観察会に参加して頂いた柿木澤子ども育成会が、長年の活動をさくら市子供会連合会から評価され、この度、連合会長表彰を受賞しました。新入生歓迎会、花いっぱい運動、親子夏季レクリエーション、地域のみんなの集い、子どもみこし、ぼうじぼづくり、卒業生送る会など様々な活動に積極的に取り組まれております。

受賞おめでとうございます。今後のますますのご活躍を期待しています。

兼田会長ほか役員の皆さん

田んぼの生き物たち

ホタルの成虫の飛翔は、６月上旬頃ですが。柿木澤では今年5月連休後にみられたとのこと、温暖化のせいでしょうか。寿命が10日から2週間程度で、その間夜露を飲むだけ、交尾後卵を産み、孵化した幼虫は、カワニナという巻き貝を食べ成長し、翌年桜の咲く頃に、はいあがり成虫になるまで土の中で過ごします。およそ５００個の卵で成虫は２－３個といわれています。カワニナ、流水、草むら、日陰と日なたの確保など・・・ホタルの生息に必要な環境を継続して維持、改善することが重要かと思います。

ちょっと一服

保全会の代表、副代表、事務局長の名字が、くしくも同じ「田代」の姓となりました。ほかに推進員２名も同じです。田んぼを保全する会にとっては、まさに何かの縁なのでしょうか。田の付く名字は、前田、横田、上田、山田、中田、高田、原田、小田、黒田など、ほかにもあると思いますが多くあります。苗字の苗（イネ）は、イネ苗が分けつ増えるように子孫繁栄の祈りと聞いたことがありますが・・・・

編集後記

「水があがってからだよ」「南部排水があるでしょ？」「大沼川ってどこ？」行政区の役員をしている縁で、農業の素人、地域のこともよく分からないまま、事務局を引き受け戸惑いを感じてますが、代表はじめ役員の皆さんに助けて貰いなんとか会がスタートできました。活動組織の県協議会が発行している冊子に「広げよう地域の輪！守ろう田んぼまわりの生きものたち」のタイトル記載がありますが、会の活動を通して、少しでも地域の環境が良くなり、ひとの輪、絆が深まればと思っています。〔事務局〕